

くらしをまもり、未来をつくる

2023 春季生活闘争ニュース

2023. 7. 5 - 第 23 号 - 連合北海道 春季生活闘争本部

2023 年春季生活闘争 第 7 回回答集計結果について

連合本部は、2023 年春季生活闘争につき、7 月 3 日（月）10 時の時点で取りまとめた最終の回答集計について、次の通り発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した5,613組合中5,463組合が妥結済み（97.3%）。うち賃金改善分獲得が明らかな組合は2,909組合・53.2%で、比較可能な2013闘争以降では組合数・割合とも最も高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した5,272組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で10,560円・3.58%（昨年同時期比4,556円増・1.51ポイント増）、うち300人未満の中小組合3,823組合は8,021円・3.23%（同3,178円増・1.27ポイント増）となった。6 月末時点の結果としてはいずれも、比較可能な2013闘争以降で最も高く、労使が中期的視点を持って粘り強く交渉した結果であり、「未来につながる転換点」となり得るものと受け止める。
賃上げ分が明確に分かる3,186組合の「賃上げ分」は5,983円・2.12%、うち中小組合2,019組合は4,982円・1.96%となり、いずれも賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降で最も高い。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給52.78円（同29.35円増）・月給6,828円（同2,831円増）である。引上げ率は概算でそれぞれ5.01%・3.18%となり、時給は一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。

連合北海道は、7 月 3 日（月）10 時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 連合北海道にエントリーのあった 200 組合中 185 組合が妥結した(92.5%)。そのうち、集計可能な回答を引き出した組合は 173 組合（昨年同時期比 16 組合増）、46,680 人（同 1,972 人増）であった。
- 月例賃金の加重平均は、8,709 円・3.30%（同 3,454 円・1.30 ポイント増）の引き上げとなり、同様の集計を始めた 2016 年闘争以降で最も高い数値となっている。
- 回答を引き出した 173 組合のうちベースアップ分が明確にわかる 120 組合のベースアップは、4,979 円・1.80%（同 3,563 円・1.26 ポイント増）となった。

【組合規模別賃上げ状況 2023 年 7 月 3 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99 人	87	4,099 人	6,573 円(3.03%)	4,027 円(1.76%)	2,546 円(1.27%)
100～299 人	50	8,597 人	7,863 円(3.38%)	4,877 円(2.14%)	2,986 円(1.24%)
300 人未満計	137	12,696 人	7,436 円(3.26%)	4,663 円(2.05%)	2,773 円(1.21%)
300～999 人	29	14,588 人	9,902 円(3.66%)	4,425 円(1.78%)	5,477 円(1.88%)
1,000 人～	7	19,396 人	8,786 円(3.15%)	6,047 円(2.08%)	2,739 円(1.07%)
300 人以上計	36	33,984 人	9,173 円(3.32%)	5,471 円(1.98%)	3,702 円(1.34%)
計	173	46,680 人	8,709 円(3.30%)	5,255 円(2.00%)	3,454 円(1.30%)

◎2023 年春季生活闘争の北海道集計は 8 月末が最終となっております。要求・回答・妥結情報を連合北海道 2023 年春季生活闘争本部までお知らせ下さい。(Fax:011-272-2255)